

# やまなし 県議会 だより

## 九月定例会の概要

県議会は、令和元年九月定例会を九月十八日から十月四日まで  
の十七日間の日程で開きました。  
開会日の提案理由説明で

長崎幸太郎知事は「農産物や観光資源など、山梨が有する数々の地域資源は、世界レベルと呼ぶにふさわしいもので溢れている。激化する地域間競争の中にあつては、戦略性を持った攻めの仕掛けにより、県民生活の向上という



8月6日開催の高校生議会に参加した生徒の皆さん

成果につながられるよう、徹底的に結果にこだわり、県民に還元していく覚悟である。その際、より効果的、戦略的に展開するためには、県単独での取り組みではなく、国を初め、多くの方々とパートナーシップを構築することが必要である」と強調されました。

また「これまでほとんど発生が見られなかった峡東地域を含め、県下全域でモモせん孔細菌病が発生し、この病害がまん延した場合、日本一の桃の産地というブランドが脅かされる可能性がある。早急かつ全県的に対策をとるようにとの県議会からの提言を踏まえ、来年度以降の発生を抑制するため、JAや市町村と連携して、秋に県内の桃園において一斉防除を行うこととし、薬剤費の助成に要する経費を九月補正予算に計上した」と述べられました。

さらに、豚コレラへの対応について「九月十一日、埼玉県の農場から本県食肉流通センターに出荷された豚に感染の疑いがあり、十三日の感染判明後、県では直ちに豚コレラ防疫対策本部を設置。センターの枝肉等の埋却処分や施設の消毒などの全ての防疫措置を完了し、十七日にセンターの業務を再開したところであり、今後、埼玉県との発生農場と同じ日にセンターに出荷した県内養豚農場について継続して監視するとともに、豚コレラの防疫対策を

強力に進めるため、追加的に必要となる経費の精査を進め、今定例会に関連予算を追加提案する」との考えを述べられました。

知事の説明を受けて、九月二十四日から二十七日の四日間、代表・一般質問を行いました。

また、九月三十日に農政産業観光、土木森林環境委員会、十月一日に総務、教育厚生委員会の開催し、付託議案や所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の十月四日には、議員提案した豚コレラの防疫対策の強化を求める意見書や総額三十四億六千五百五十万円の一般会計補正予算案など二十七案件を可決、同意しました。

## 議会活動の紹介

山梨活性化促進  
県議会議員連盟農林業部会

山梨活性化促進県議会議員  
連盟農林業部会（鈴木幹夫部会長）

## 県議会トピックス

### 議場コンサートを開催

9月18日の本会議開会に先立ち、山梨交響楽団による「やまなし秋・議場コンサート2019」を開催しました。議員や県民の方々が、山梨交響楽団の奏でる名曲の調べを楽しみ、芸術の秋を満喫しました。



美しい音色が傍聴者を魅了した議場コンサート



左から遠藤浩副議長、大柴邦彦議長、長崎幸太郎知事  
鈴木幹夫部会長

（長）は、モモせん孔細菌病と豚コレラの対策について、執行部および国の機関あてに要望等を行うことを決定し、それぞれ要望書を長崎知事あてに提出しました。

また、九月定例会においては、議員提出議案「モモせん孔細菌病の防除に万全の対策を求める意見書」及び「豚コレラの防疫対策の強化を求める意見書」が可決され、それぞれ国の機関あてに提出しました。



9月定例県議会では、9月24日から27日までの4日間にわたり、代表、一般質問が行われました。各議員の質問項目は次のとおりです。

# 代表質問

- 人口減少対策
- 本県農業の振興
- 防災・減災、国土強靱化の取り組み
- 火山対策の取り組み
- 大規模地震への対応
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたフランスとの交流
- JR中央線の利便性の向上
- 看護職員の確保・定着に向けた勤務環境の整備
- メディカル・テバリス・コリドー構想の推進
- ワイン県
- 少人数教育の推進
- 全国学力・学習状況調査

自民党誠心会 鈴木幹夫



- 中部横断自動車道の整備
- 水害・土砂災害対策
- 文化芸術の振興
- 高齢者等の交通弱者の移動手段の確保
- 若年性認知症対策の取り組み
- やまなし子育て応援事業
- 市町村による新たな森林管理の取り組みに対する支援
- 県立産業技術短期大学校と峡南高等技術専門校の学生の確保
- 観光推進計画の改定と観光振興のための財源の確保
- 豚コレラの防疫対策
- 山梨県自転車活用推進計画
- 連携型中高一貫教育と県立高校の魅力づくり
- 山岳遭難の現状と防止対策

自民党誠心会 望月勝



リベラルやまなし 飯島修

- 知事の政治姿勢
- ふるさと納税制度の促進
- 自転車の安全適正利用に向けた条例の制定
- 県における障害者雇用の推進に向けた取り組み
- 投票率の向上に向けた取り組み
- 「火山防災強化推進都道県連盟」の設立
- 認知症対策の取り組み
- がん患者のリハビリテーションの推進
- 子どもの貧困対策の推進
- 少人数学級の導入
- しなやかな心の育成
- 小中学校における郷土学習の推進
- 未就学児が日常的に集団で移動する経路の安全対策

# 一般質問



永井 学 (自民党誠心会)

- 移住相談体制の充実
- 外国人材の受入促進と共生推進
- 児童虐待防止対策
- 自然保育の充実
- 育児休業取得率の向上に向けた取り組み



藤本好彦 (リベラルやまなし)

- 財政の運営
- 総合計画の評価
- 食のさらなる安全の向上
- 難病対策
- 農業・農村の振興
- 小中学校の教員の確保



遠藤 浩 (自民党誠心会)

- 介護人材の確保・定着及び資質向上
- 西八代縦貫道路の身延町三沢から市之瀬間のバイパス整備
- やまなしのインフラの魅力発信
- 峡南地域新設高等学校開校に向けての取り組み



鷹野 一雄 (令和会)

- 市街地の公共交通空白地における移動手段の確保
- これからの介護予防の取り組み
- 子どもの貧困対策
- 生活幹線道路の渋滞対策
- 緊急輸送道路における無電柱化の取り組み
- 鎌田川の河川改修
- 小中学校の不登校対策
- 優れた教員の確保



水岸 富美男 (自民党誠心会)

- 東京オリンピック自転車競技ロードレース開催に向けた準備
- リニア体験乗車の休止への対応
- 地球温暖化対策の推進
- 富士技術支援センターにおける企業支援
- 登山の安全確保の推進
- 新たな県産養殖魚「富士の介」のブランド化
- 県道高畑谷村停車場線・宝バイパスの整備



佐野 弘仁 (公明党)

- 認知症対策推進計画での子ども達の認知症教育推進
- 高齢者事故防止に係る補助制度の実施
- がん教育における外部講師の活用促進
- 発達障がい児者の切れ目のない支援の強化
- 全国都市緑化フェアの本県開催



猪股 尚彦 (自民党誠心会)

- 地域における見守り活動の推進
- 大規模な太陽光発電施設の安全対策

- 若者の県内就職の促進
- 昇仙峡の活性化
- 農業用ため池の防災・減災対策
- 都市計画道路田富町敷島線の整備
- 小中学校のいじめへの対応



乙黒 泰樹 (自民党誠心会)

- やまなし地域づくり交流センター(仮称)の整備
- 県産木材の利用拡大に向けた取り組み
- 中小企業に対する事業承継の支援
- 農業保険の加入促進
- 急傾斜地の土砂災害対策
- 県道塩平窪平線の整備
- 住民の不安解消のための県警察の取り組み



小越 智子 (日本共産党)

- 知事の政治姿勢
- ジェンダー平等
- 重度心身障害者医療費窓口無料の復活
- 加齢に伴う中軽度の難聴者の補聴器購入補助
- 子育て支援
- 交通政策



杉原 清仁 (自民党誠心会)

- モモせん孔細菌病の防除
- 農泊の推進
- 峡東地域の地域資源を生かした観光振興
- 産前産後ケアセンターの利用促進
- 森林公園金川の森の利便性向上
- 新山梨環状道路東部区間の整備
- 教員の資質能力の向上
- あり運動に対する県警察の取り組み



望月 利樹 (チームやまなし)

- 県の人口政策
- 中山間地域における自動運転サービスの導入
- 在宅医療を支えるかかりつけ医
- 「サイクル王国やまなし」の実現
- 旧下部町の県道市川三郷身延線の三沢から市之瀬間のバイパス整備

# 可決・同意された主な議案

- 山梨県職員給与条例等改正の件
- 山梨県手数料条例改正の件
- 山梨県警察関係手数料条例改正の件
- 山梨県医師修学資金及び医師研修資金貸与条例改正の件
- 山梨県立職業能力開発校設置及び管理条例及び山梨県立産業技術短期大学設置及び管理条例改正の件
- 山梨県土砂の埋立て等の規制に関する条例改正の件
- 山梨県立学校設置条例改正の件
- 山梨県立学校授業料、入学金及び入学審査料条例改正の件
- 山梨県卸売市場条例廃止等の件
- 令和元年度山梨県一般会計補正予算令和元年度山梨県国民健康保険特別会計補正予算
- 山梨県監査委員の選任について同意を求めるの件
- 山梨県土地利用審査会委員の任命について同意を求めるの件

# 可決された意見書

- モモせん孔細菌病の防除に万全の対策を求める意見書
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 新たな過疎対策法の制定を求める意見書
- 豚コレラの防疫対策の強化を求める意見書

# 採択された請願

- 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書の提出を求めることについて
- 新たな過疎対策法の制定について

議案等に対する議員別の賛否は、ホームページでご覧になれます。



# 委員会レポート

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、九月三十日、十月一日に令和元年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行いました。また、十月四日の本会議では、各委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

## 総務委員会

委員長 乙黒 泰樹



### 駐日大使向け 情報発信事業費

**問** 事業の具体的な流れは。また、事業の実施によって期待される効果は何か。

**答** 各国の大使や大使館を訪問し、本県の魅力を紹介するとともに、自国に対して強い影響力をもつ大使を対象に、本県の魅力を直接見て、触れていただく山梨紹介ツアーを実施することで、大使や大使館との関係の構築を図る。こうしたことにより、大使に、日本に在住する自国の外国人へ本県の紹介を

広めていただくことを期待している。

また、明年のオリンピック・パラリンピック開催時に来日する選手や要人、観戦客に対し、本県へのツアーを推薦してもらい、これにより、外国人観光客の増加や、その後の本県への継続した誘客増加につなげていきたい。

### 【その他の主な質問事項】

- ・山梨県警察関係手数料条例中改正の件
- ・山梨県教育委員会教育長の給料等に関する条例中改正の件
- ・ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業費補助金

## 山梨県医師研修学資金及び医師研修学資金貸与条例中改正の件

**問** これまで医師研修学資金は、無利息で貸与を行っていたが、なぜ利息を付すこととしたのか。また、この条例改正により、県内の医師確保に向けて、どのような効果が期待されるのか。

**答** 医師研修学資金は、山梨大学等が行う地域枠推薦入試と連動しており、この地域枠推薦入試により入学する者全員が、修学資金の貸与を受けることを要件とし、修学資金の返還免除に必要な

期間、地域で就業することとなっている。本県においては、地域枠推薦入試で入学した医師の就業義務違反者はないが、全国的に発生事例があり、本県でも対策を講じる必要があることから、修学資金返還への抑止力として、新たに利息を付すこととした。また、卒業後の臨床研修と、その後の専門研修を併せて県内病院での実施を要件化することで、修学資金貸与者の県内定着が一層図られるものと考えられる。

### 【その他の主な質問事項】

- ・移動型調剤車整備事業費
- ・児童養護施設等整備費補助金

## 教育厚生委員会

委員長 渡辺 淳也



## 農政産業観光委員会

委員長 猪股 尚彦



### 豚コレラ緊急防疫対策事業費

**問** 本事業は、県食肉流通センターで埼玉県内の農場から出荷された豚が豚コレラに感染していたことが確認されたことや、隣接する埼玉県、長野県で豚コレラが発生したことを踏まえて緊急的に実施するものであることだが、どのような事業を行うのか。

**答** 本事業では、養豚農家における野生イノシシ侵入防止柵の設置を支援するとともに、富士桜パークの種豚等を飼育している畜産酪農

技術センターにも野生イノシシ侵入防止柵等を整備していく。また、家畜保健衛生所において、野生イノシシの豚コレラ感染確認検査のための機器等を整備していく。

なお、豚コレラは、豚とイノシシ特有の病気であり、人には感染しない。また、感染した豚の肉が市場に流通することはないが、仮に感染した豚の肉を食べても人体には影響はない。

### 【その他の主な質問事項】

- ・総合農業技術センター再整備事業費
- ・県産日本酒を活用した中心市街地活性化支援事業費補助金
- ・山梨「ワイン県」PR事業費

## ユネスコエコパーク推進費

**問** 国内のユネスコエコパークは知名度の低さが課題となっているが、今回新たに登録された甲武信ユネスコエコパークでは、知名度の向上のため、どのような施策を講じていくのか。

**答** 国内外に甲武信の魅力を広く発信するため、今年度、甲武信ユネスコエコパーク独自のホームページを作成する。あわせて、国内の十のユネスコエコパークで構成する「日本ユネスコエコパークネットワーク」を通じて、世界のユネスコエコパークとの

連携を深め、ネットワークの一員として、世界への情報発信や普及啓発活動を行っていく。

また、地域の農業生産者から、農産物の出荷箱などにユネスコエコパークの表示をしたいとの申し出があることから、農業生産者や企業と協働して、甲武信ブランドを活用することにより、甲武信ユネスコエコパークの認知度の向上を図っていく。

### 【その他の主な質問事項】

- ・県産材利用促進対策事業費
- ・不法投棄防止対策事業費
- ・山梨県手数料条例中改正の件
- ・葦崎警察署庁舎建設工事契約の締結

## 土木森林環境委員会

委員長 宮本 秀憲



## 議会活動の紹介

## 常任委員会 県外調査

議会閉会中に、各常任委員会では、それぞれ所管する事項の審議の参考とするために、県内外に出向き調査活動を行っています。今回は、各常任委員会の県外調査の主な状況について御紹介します。

### 総務委員会



山鹿市惣門地区（熊本県山鹿市）において、山鹿市における市民が参加したまちづくりについて調査（写真）したほか、熊本県庁、熊本城（震災後の状況）、佐賀県庁、福岡県庁で調査を行いました。

### 農政産業観光委員会



農業法人有限会社わくわく手づくりファーム川北（石川県能美郡川北町）において、地域の特産物を活用した六次産業化の取り組みについて調査（写真）したほか、一般社団法人でんき宇奈月、株式会社能作、石川県庁で調査を行いました。

### 教育厚生委員会



株式会社テルベ（北海道北見市）において、ノーマライゼーションの実践企業の取り組みについて調査（写真）したほか、日本体育大学附属高等支援学校、北海道文教大学、札幌市子ども発達支援総合センター・ちくたくで調査を行いました。

### 土木森林環境委員会



奥入瀬溪流館（青森県十和田市）において、持続可能なエコツーリズムの取り組みについて調査（写真）したほか、官民複合施設オガールプラザ、宮城県南三陸町役場、首都圏外郭放水路で調査を行いました。

指定管理施設・出資法人  
調査特別委員会

六月定例会で設置された指定管理施設・出資法人調査特別委員会(白壁賢一委員長)は、閉会中に、指定管理施設と県が資本金等の四分の一以上を出資している法人を対象に、経営状況等さまざまな視点から調査を行いました。調査結果については、九月定例会開会日の本会議で委員長が報告し、了承されました。なお「委員会で交わされている意見・議論を直接的に聞き、それらを指定管理施設の運営に生かすため、指定管理者の役員・事務局長等の職員は、説明員の補助者として委員会に積極的に出席することを強く要望する」との附帯決議が附されたことの報告もありました。



(公財)山梨県馬事振興センターを調査する委員

決算特別委員会を設置

平成三十年度山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出決算の内容及び平成三十年度公営企業会計(県企業の電気事業、温泉事業、地域振興事業)の決算内容を審査する決算特別委員会(鈴木幹夫委員長)が九月二十七日の本会議で設置されました。同委員会では、議会閉会后も継続して各会計の審査を行い、その結果を十二月定例会で報告する予定です。



決算特別委員会 (定数15)

委員長 鈴木 幹夫

副委員長 山田 七穂

委員

- 望月 勝
- 河西 敏郎
- 久保田松幸
- 杉山 肇
- 猪股 尚彦
- 宮本 秀憲
- 流石 恭史
- 大久保俊雄
- 杉原 清仁
- 白井 友基
- 古屋 雅夫
- 小越 智子
- 望月 利樹

議員研修の実施

議会は住民の代表であり、住民に一番身近な存在である議員が地域の実情と県の施策を確認・調査し、新たな政策条例や提言の策定に積極的に取り組んでいく必要があります。そこで、山梨県議会基本条例のつとめ、継続して議会改革を推進するため、全国道府県議会議長会事務局次長の高橋秀禎氏を講師に、地方を巡る最近の動向等について議員研修会を実施しました。



高校生議会を開催

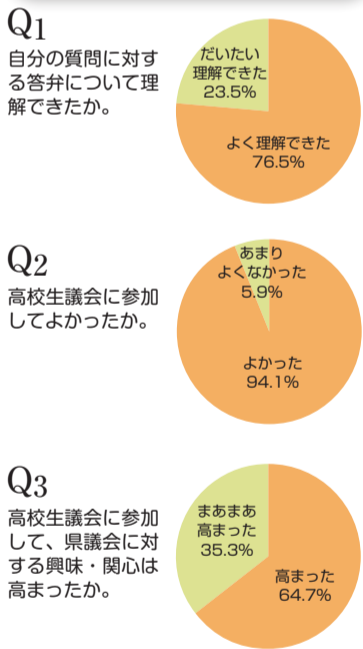
選挙権年齢が「満十八歳以上」に引き下げられたことを踏まえ、県政や県議会に対する理解・関心を深めることを目的に、本県の次代を担う高校生が、県議会の本会議を体験する高校生議会を開催しました。

県内の高等学校・特別支援学校の十八校の生徒が参加し、県内就職を促進するための取り組みや若者の投票率の向上など多岐にわたる質疑が行われました。終了後はアンケートに協力していただきました。



高校生議会の様子

高校生議会参加者へのアンケート調査結果



12月定例会の予定

12月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

- 12月 3日(火) 本会議(開会)
- 6日(金) 本会議(質疑・質問)
- 9日(月) 本会議(質疑・質問)
- 10日(火) 本会議(質疑・質問)
- 11日(水) 本会議(質疑・質問)
- 12日(木) 常任委員会
- 13日(金) 常任委員会
- 16日(月) 常任委員会
- 18日(水) 本会議(閉会)

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

ホームページ、会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報をホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、お住まいの市町村役場等でもご覧いただけます。



山梨県議会 検索

インバウンド観光に関する政策提言案作成委員会

インバウンド観光に関する政策提言案作成委員会(望月勝委員長)は、今後、作成する知事への政策提言への参考とするため、成田国際空港(株)代表取締役社長(前観光庁長官)田村明比古氏を講師に迎え「観光先進国の実現に向けて」山梨県への期待」をテーマに講演会を開催し「山梨ならではの」を追求することなど本県観光の課題とその対応等について講義を受けました。当日は、委員外議員も多数聴講しました。

